

市議会・委員会質疑・討論概要

【福祉保健部所管 3月20日】

質疑項目

- ・介護保険改善求める請願—継続審査に
法案の内容について質疑をおこないました。
- ・平成26年度一般会計予算案

質疑

生活困窮者自立支援について、内容や運用について

●反対討論

- ・職員給与の削減—職員の生活に響く、市内の消費動向にも影響を与えます。賃下げ政策の先兵役を果たしてはなりません。
 - ・同和予算に反対、活動団体補助金も廃止となっています。すべて同和施策は一般施策への移行で解消すべきである。
- の2点で反対しました。

一般議案

議第24号大分市手数料条例の一部改正

●反対討論

- ・犬、猫の手数料引き上げは消費税増税の影響であり、消費税増税反対の立場から反対した。

【環境部所管 3月24日】

○平成26年度一般会計予算案

○地球温暖化対策一家庭用再生エネルギー省エネ設備導入補助金について

- ・ 現行の発電量はどうか。大分市全体ではどうか。
- ・ エネファームの省エネ率はどうか。

○ごみ処理費

- ・ 佐野清掃センターへの臼杵市からのごみ搬入量の推移は、再度確認したい。

○ごみ収集費

- ・ 民間委託の範囲は75%と聞いているがどの地域になるのか。民間委託によるトラブル解消の事務所の体制はどうするのか。
- ・ 家庭ごみ有料化の意義申請はどこにすればいいのか。

討論

・ 家庭ごみ有料化にともなうもの、収集運搬の民間委託に係る予算案には反対する。ごみの収集、運搬、処分は行政の固有の仕事である。反対や疑問の声が圧倒的であること。雇用不安、経営悪化、年金減額などのなかで、家庭ごみ有料化は市民生活に重大な影響及ぼすごみ有料化による減量効果が定かではないこと。

公平性をうたっているが、低所得者も高額所得者にも強制的にとりあげる点で最大の不公平であること。税金の二重取りになること。

○債務負担行為

●反対討論

・ 指定ごみ袋作成など家庭ごみ有料化実施にともなうもの、家庭ごみ収集民間委託に関しては、4款、清掃費等で反対した理由で、債務負担行為に反対する。

一般議案

報第18号廃棄物施設整備基金条例について

- ・手数料収入で基金を設けているものはあるのか。
- ・中核市の手数料の基金化しているのは秋田市だけ、その他はしていないなぜか。
- ・家庭ごみ手数料を基金に積み立てる根拠法律どこにあるのか。説明を求める。

討論

- ・手数料収入は、100歩ゆずっても、ごみ減量・リサイクル予算にふりむけるべきだ。市民への説明なし、目的外使用となる。反対。

【管内視察 3月25日】

委員会最終日は、アライグマの捕獲を視察しました。アライグマの生態など詳しく知ることができました。対策の必要性を改めて認識しました。

一木公民館では、関係者との懇談もおこないました。